

(再評価)

資料 2-4 (1)

確認結果

河川事業

再評価原案準備書説明資料

沙流川直轄河川改修事業

令和3年度
北海道開発局

◇沙流川直轄河川改修事業の総便益

- ⑦便益（洪水被害） 993億円 -- 治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑧便益（残存価値） 6億円 -- 治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑨総便益【B】 999億円（現在価値化） -- ⑨=⑦+⑧

事業全体

- ◆費用便益比（B/C） 999億円/273億円=3.7
- ◆純現在価値（B-C） 999億円-273億円=726億円
- ◆経済的内部収益率（EIRR） 19.9%

※算出条件 整備期間：平成19年度～令和8年度（20年間） 評価対象期間：平成19年度～令和58年度（整備期間+50年間）

残事業

- ◆費用便益比（B/C） 141億円/45億円=3.1

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和8年度（5年間） 評価対象期間：令和4年度～令和58年度（整備期間+50年間）

当面整備

- ◆費用便益比（B/C） 141億円/45億円=3.1

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和8年度（5年間） 評価対象期間：令和4年度～令和58年度（整備期間+50年間）

感度分析

	残事業のB/C	事業全体のB/C
◆事業費（+10%～-10%）	(2.9～3.5)	(3.6～3.7)
◆工期（+10%～-10%）	(2.7～3.9)	(3.6～3.8)
◆資産（-10%～+10%）	(2.8～3.5)	(3.3～4.0)

確認後：2.6～3.9

確認後：2.8～3.4

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。